

こども相談室

千葉県小児科医会
副会長 猪股 弘明 医師

こどもの病気 Q&A 電話相談で件数が多い症状【耳を痛がる】

家庭で対応可能な症状なのか、救急診療所を受診した方がよい症状なのかの判断に迷いがある場合に＃8000をプッシュして小児急病電話相談を利用してもらっています。千葉県小児科医会は、お子さんの症状の程度をチェックして緊急性のスクリーニングを行う機能を付けた冊子「チェックリストによる子どもの急病ガイドブック」を発刊しております。救急診療所の受診や、電話相談の利用の前に、この冊子を読んでいただきたいと存じます。その中から、電話相談にも件数が多い項目を紹介します。今回は「耳を痛がったら」を紹介します。



夜間などに、突然、耳が痛いとお子さんが泣き出すことはしばしば経験します。チェックリストを参考にしてください。また、判断に迷った時は、「こども急病電話相談」までお問い合わせください。

症例【耳を痛がる】

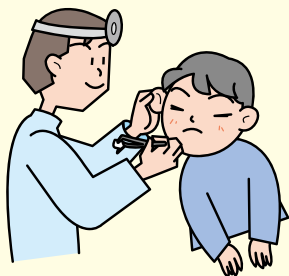
チェックポイント A

(この場合は、医療機関受診をお勧めします)

- ☐ 熱も高く、頭もひどく痛がる

解説 A

この場合は、髄膜炎の合併も疑われます。



チェックポイント B

(Bだけの場合は、以下の説明を読んで対処して下さい)

- ☐ 急に耳を痛がる。発熱がある
- ☐ 耳だれが見られる
- ☐ 耳の下が腫れていて、押すと痛い

解説 B

1. 痛みが我慢できないようでしたら、お子さま用の熱さまし(痛み止めにもなります)を使って様子を見ましょう。たとえ中耳炎でも、翌日にかかりつけ医を受診すれば大丈夫です。
2. 中耳炎で鼓膜が穿孔すると、膿が流れ出てきます。こうなると、かえって痛みは軽くなるので、夜間であれば、様子を見ても良いでしょう。
3. 耳の下が腫れている場合は、おたふくかぜの可能性がありますが、翌日にかかりつけ医を受診すれば良いです。離れたところに居て、受付で「耳の下が腫れている」と言って下さい。

※「チェックリストによる子どもの急病ガイドブック」千葉県小児科医会・千葉県医師会発行、監修：猪股弘明・佐藤好範・西牟田敏之より

「チェックリストによる子どもの急病ガイドブック」入手について

この冊子をご希望の方は、かかりつけ医師にご相談して下さい。

(冊子をご希望の先生は、まとめて購入していただきますので、千葉県小児科医会事務局にお問い合わせ下さい)

こども急病電話相談

受診した方が良いのか、様子を見ても大丈夫なのか看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは **局番なしの＃8000**

銚子市及び旭市の一部(旧飯岡町・旧海上町)の地域からは **043 (242) 9939**

相談日時は、毎日・夜間 **午後7時～午後10時**